

質問事項		記述式回答
経済再生と両立する財政健全化		
1	以下の二つの取組について、先進的な取組事例や具体的な取組のご提案がございましたら500字以内でご記入ください。 ①公的サービスの質の向上と歳出効率化に向けた、国民・企業・自治体等の自発的な取組を促すようなインセンティブ改革 ②これまで行政が担ってきた公的分野について民間の多様な主体との連携を促進することにより、その創意工夫と民間資金の活用を図る「公的部門の産業化」	鹿児島では明治初期に火災で焼失した薩摩藩鶴丸城の城門「御楼門」の復元プロジェクトが民間主導で進められている。これまで文化財の復元・保護や活用は公共が中心となって進められてきたが、資金集めから活用まで民間が主導できれば、官民連携(PPP)の新たな可能性が広がる。当会が今年3月に実施した地域研究助成・顕彰事業において、最優秀賞を獲得した産学連携機構九州(九州PPPセンター)の吉村茂氏の研究「史跡等文化財活用へのPPP導入のあり方～鶴丸城御楼門復元プロジェクトからの考察～」は、収益が限られる文化財活用について、文化財周辺の活用を含めることで行政と民間の新たな役割分担や可能性をさぐるもので、鹿児島の御楼門復元プロジェクトに限らず、民間のノウハウが導入できそうな全国の文化財の活用に向けて、一考に値する提案だと思う。
2	2020年度の財政健全化目標を堅持することとしておりますが、その道筋についてご意見がございましたら500字以内でご記入ください。	